



中西 顕治

台風11号での防災体制

防災体制に問題有り

本年7月の台風11号では16日から18日の3日にまたがる警戒体制が敷かれた。住民からは避難所開設情報が情報防災メールと町ホームページの情報

報が食い違うこと、消防団への対応が適切でなかったことなど防災本部の体制の薄さが指摘された。



6月議会で指摘した自治防災課の課題のひとつである人員配置について

の脆弱性がこういう形で露呈したことは非常に残念である。改めて防災体制の再構築を促すために質問を行った。

問 2夜連続の警戒体制であったが、人員配置状況に不備はなかったか。

答 能勢町地域防災計画に基づき災害対策本部会議を行い職員配備計画に基づき人員配置をした。

問 自治防災課の3人体制では災害対策本部会議対応、消防団への指示、避難所への対応、全国瞬時警報システムへの対応、住民からの問い合わせへの対応を処理することはそもそも困難であったのではないか。
特に情報発信面で専任のパソコンのオペレータ

が確保できず、リアルタイムで情報が提供できなかったことについてどう対応するか。



答 指摘のとおりである。新たにもう1名パソコンのオペレータを配置すると計画をまとめたところである。

一般質問



木戸 俊治

今年度予算に基づく施策、事業の進捗は

問 厳しい財政状況の中、新学校建設をはじめ、大型公共事業が進んでいる。町長の「町政運営方針」に基づく施策の進捗はどうか。

答 新学校及び火葬場建設については、概ね計画的な予算執行状況となっている。課題は事業・施策の実施にあたって、趣旨、目的を組織として認識し、組織力を発揮するための環境を整えることが一番重要と考えている。
また、若者の就労の場を確保するため、民間の事業者にも入ってもらい野外活動センター跡地の有効活用等、「実践型地域雇用創造事業」を進めたい。

一、今年度予算に基づく施策、事業の進捗は 二、まち・ひと・しごと 創生総合戦略の策定状況は

まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定は

問 町長は、本総合戦略を自前で策定するとしているが、その進捗について伺う。

答 地域再生計画、地域雇用創造計画、総合戦略が3点セットになっており、地方創生を効果的に推進していくためにも、住民や地域の事業者等関連機関の参画が不可欠と考えている。現在懇談会を設置し多様な意見を聞いている。本年12月中旬に完成させる気持ちで取り組むたい。

問 今回のアンケート調査でも、公共交通の充実が切実な問題となっているが、町づくりの中で交通体系を考え、総合戦略でまとめる考えは。

答 本町の大きな課題と考えている。懇談会の中に専門家も入ってもらっており、一定の方向性や考えを固める時期ではないかと考えている。

